



違憲の戦争法案は廃案に！

今国会成立反対61%、賛成28% (毎日新聞 7月6日)

「なぜ、憲法学者に論破され破綻している屁理屈を並べ立てるのか」「嘘とペテン、詭弁が露呈してもなぜ、平然としていられるのか」「与党内から『これはおかしい』というマトモな声が出ないのはなぜなのか」(日刊ゲンダイ 6月27日号1面)。国民の中から「なぜ」の声が吹き出しています。

安倍政権は憲法解釈を180度変え、集団的自衛権を発動して海外での武力行使を可能にしようとしています。「武力行使の新3要件」にいう「わが国の存立が脅かされ、国民の権利が根底から覆される明白な危険がある」の具体例が、邦人は乗せないとアメリカが言っているのに「邦人輸送中の米輸送艦の防護」、ホルムズ海峡が万一封鎖されたとしても石油を輸送するルートはあるというのに、あくまでも「ホルムズ海峡の機雷除去」、集団的自衛権行使容認の根拠は「1959年の最高裁砂川判決」、横畠裕介内閣法制局長官は「(判決は) 集団的自衛権について触れていない」と認めています。嘘と詭弁はすでに明らかであるのに、国会を95日延長して、足が出て負けた相撲の土俵を勝手に大きくして、憲法違反の悪法をあくまで成立させようと執念を燃やしています。

アメリカは、ベトナム戦争やイラク戦争等々これまで数限りない無法な先制攻撃の戦争を行ってきましたが、日本政府はこれまでただの一度もアメリカの戦争に「ノー」と言ったことはありません。このようなアメリカ追従の政府が、アメリカに言われるまま、集団的自衛権を発動して武力行使を行えばどうなるか、火を見るより明らかです。

首相周辺の、国民の知る権利を奪う言論弾圧の本音

6月25日に開かれた自民党議員による「文化芸術懇話会」。「マスコミを懲らしめるには広告収入がなくなるのが一番。経団連に働きかけて」、百田尚樹氏の「基地の周りが商売になるということで住みだした」「沖縄の二つの新聞社(沖縄タイムスと琉球新報)は絶対つぶさなあかん」。何という無知と無恥と傲慢でしょうか。

国民の反撃は、急速に強まっています

平和な戦後を70年で終わらせようとする安倍政権に対して、国民の反撃が急速に強まっています。「6・21 集団的自衛権と特定秘密保護法反対 兵庫大集会&パレード」には、9,000人が集まりました。「東遊園地にこれだけの人が集まるのは安保闘争以来だ」という声がありました。その頃にはまだ生まれていない乳母車を押す若い夫婦の姿もありました。伊藤真さんの「憲法の番人は学者ではない、最高裁だとある人が言いましたが、違いますよ。国民は最高裁判事に×をつけクビにすることができます。憲法の番人は国民なんです」というスピーチに大きな拍手が起こりました。

岩岡で署名活動を行っても、常に「攻められたらどうするのか」と問われます。憲法学者・樋口陽一さんは、「攻められることはない、絶対安全という論証はできません。絶対安全という論証ができないことを国是とし、それほどの決心を求めたのが九条です。他国から攻められることのない、外交をはじめその前提をみたく努力を要求しているのが九条なのです」と答えています。私たちが更なる努力をしなければなりません。

若者たちが「戦争反対」の街頭宣伝に大勢参加しています。彼らは言っています「私たちは、あなた(首相)を置いて前へ進みます。人間の社会は進歩するのです。近いうちに歴史が証明するでしょう」と。(SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)の若者)



6・21兵庫大集会(東遊園地)

戦争法は絶対に許さない。決めるのは主権者たる私たちです。廃案にするまでどんなことがあっても諦めず、粘り強く闘い抜きましょう。

緊急のおねがい



(表)

(裏)

「憲法改悪ストップ兵庫県共同センター」が作成した左のハガキ（自民党総裁・内閣総理大臣安倍晋三様宛と公明党代表山口那津男様宛の2種類あります）を150部取り寄せました。

会員の皆さんには52円×2枚（104円）のご負担をおかけしますが、私たちの戦争法絶対反対の強い意思を自民、公明両党に直接届けたいと思います。

政府・与党は来週中にも戦争法案の強行採決を行おうとしていると報道されています。このハガキがお手元に届き次第、できるだけ早く投函していただきますようお願い致します。

なお、新署名「集団的自衛権行使は海外で戦争をすることであり、平和憲法の破壊です。憲法9条を守り、生かして下さい」は、7月10日現在、156筆集まっています。署名用紙がまだお手元にありましたら、事務局までお届け下さい。郵送して下さいの方、直接事務局にお届け下さった方、ありがとうございました。

催し物のお知らせ

①「憲法9条の会・岩岡」映画会

と き：8月8日（土）13：30～15：50

と ころ：岩岡連絡所多目的ホール（小）

料 金：無料

上映作品：「小さいうち」（136分 2014年度作品）

監督・山田洋次 原作・中島京子

出演・松たか子、黒木華、片岡孝太郎、吉岡秀隆、妻夫木聡、倍賞千恵子

昭和11年、田舎から出てきた純真な娘・タキは、東京郊外に建つ少しモダンな、赤い三角屋根の小さなお家で奉公することになった。

少しづつ戦争の足音が近づき、若く美しかった奥様は…。60年の時を経てタキの口から語られたことは…。

今、戦前に空気が似てきたと言われます。その空気感を体感して下さい。



②初心者向け一日陶芸教室



と き：9月2日（水）13：30～16：00ごろ

と ころ：水沢陶芸教室秋田分室（道路沿いのヒラキ駐車場にお集まり下さい。送迎します）

講師：いなみの学園陶芸科・中野主任教授

参加費：1,500円

お申し込みは、堀口照美・「憲法9条の会・岩岡」会長まで

☎090-2704-9012

第90回世話人会

と き：2015年7月24日（金）13:30～15:30 ところ：岩岡連絡所多目的ホール（小）

「戦争法」を許さない闘い、情勢の学習と2015年度の会の活動について考えます。

どなたでもご参加下さい。

事務局：白井篤子 神戸市西区岩岡町岩岡619-97 ☎ FAX 967-2758

